

明治工芸と
そのDNA

2023 2/11 Sat

→ 4/9 Sun

超絶技巧、
未来へ!

福田亨(吸水)(部分) 2022年

開館 20 周年記念 超絶技巧、未来へ! 明治工芸とその DNA
In the Genes, Taking Marvelous Meiji Craftsmanship into the Future

展覧会概要

岐阜県現代陶芸美術館では開館 20 周年を記念し、「超絶技巧」シリーズの第 3 弾となる「超絶技巧、未来へ! 明治工芸とその DNA」展を開催いたします。

金属、木、陶磁、漆、ガラスなど様々な素材により、新たな表現領域を探求する現代作家の新作を中心にご紹介いたします。さらに、これらの作家を刺激してやまない清水三年坂美術館蔵や個人蔵の明治工芸の逸品も併せて展示することで、進化し続ける超絶技巧の世界に迫ります。

孤独な環境の中で、自らに信じられないほどの負荷をかける鍛錬を日々実践している現代作家たちは、明治工芸の DNA を受け継ぎ超絶技巧の未来を担う存在となるでしょう。

出品作家 (五十音順)

青木美歌 [ガラス] 池田晃将 [漆工] 稲崎栄利子 [陶磁] 岩崎努 [木彫]
大竹亮峯 [木彫] 蝸牛あや [刺繍] 小坂学 [ペーパー] 長谷川清吉 [金工]
樋渡賢 [漆工] 福田亨 [木彫] 本郷真也 [金工] 前原冬樹 [木彫]
松本涼 [木彫] 盛田亜耶 [切り絵] 山口英紀 [水墨画] 吉田泰一郎 [金工]
彦十蒔絵 若宮隆志 [漆工]



□前原冬樹《一刻》スルメに茶碗》2022年
朴、油彩、墨

展覧会情報

- 会 期 : 2023 年 2 月 11 日 (土・祝) - 4 月 9 日 (日)
- 休 館 日 : 月曜日
- 開館時間 : 10 時 - 18 時 (入館は 17 時 30 分まで)
- 会 場 : 岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリー 1
- 主 催 : 岐阜県現代陶芸美術館
- 共 催 : 中日新聞社
- 協 力 : 清水三年坂美術館
- 監 修 : 山下裕二 (明治学院大学教授)
- 企画協力 : 広瀬麻美 (浅野研究所)
- 観 覧 料 : 一般 1,000 円 (900 円)
大学生 800 円 (700 円)
高校生以下無料
- * () 内は 20 名以上の団体料金
- * 以下の手帳をお持ちの方および付き添いの方 1 名まで無料

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、
特定医療費 (指定難病) 受給者証



□大竹亮峯《月光》2020年
鹿角、神大樺、楓、榧、チタン合金

見どころ

■現代の超絶技巧の逸品が集結

当館で2018年に開催した、あの「驚異の超絶技巧！明治工芸から現代アートへ」に続く超絶技巧展の第3弾。17人の現代作家が手掛ける機知に富んだ超絶技巧作品が集結します。明治時代に途絶えたと言われた驚くべき技が現代によみがえり、今まさに勢いづいています。

■本物を超える？迫力の作品

《吸水》の蝶は、木をはめ込みながら本物そっくりに。さらに、その水滴は板全体を掘り下げて浮き彫りにし、研磨してツヤを出しています！また《Euphoria》は、美しいレースにしか見えませんが、実は磁器製なんです。

■撮影可能な日も

夕暮れミュージアム開催時 [2月11日(土・祝)、18日(土)、25日(土)、3月4日(土)の各日16:30~18:00]
館内で自由に撮影ができます。お気に入りの作品を見つけて、みんなとシェア！

展覧会を知るキーワード

■#超絶技巧

明治時代における高い技術のもとに制作された、非常に精巧な工芸作品に対して使われた言葉。本展などを通じて、現代美術や工芸の領域でも頻繁に使われるようになった。

■#明治工芸

明治時代に作られた主に精巧な工芸作品を指し、陶磁、漆工、七宝、木彫、刺繍絵画など、ジャンルは多岐に及ぶ。こうした職人技が駆使された作品の多くは海外に輸出されたため、近年積極的な買戻しがおこなわれ、改めて高く評価されている。

■#村田コレクション

京都・清水三年坂美術館の館長 村田理如氏によるコレクション。明治工芸を積極的に里帰りさせ、国内屈指のコレクションを築き上げている。本展で出品されている明治工芸は、村田コレクションを多数含む。

関連イベント

■トークイベント「超絶技巧の未来」

日時：2023年2月11日(土・祝) 14:00~15:30
出演：山下裕二(明治学院大学教授)
稲崎栄利子(陶芸作家、本展出品者)
長谷川清吉(金工作家、本展出品者)
会場：セラミックパーク MINO 国際会議場
* 要事前申込(電話・フォーム) [受付開始：1月14日(土) 10:00~]

■語りの会「樋口一葉 うもれ木」

日時：2023年3月4日(土) 14:00~15:30
出演：奥山眞佐子(女優)
会場：セラミックパーク MINO 国際会議場
* 要事前申込(電話・フォーム) [受付開始：1月28日(土) 10:00~]

■ワークショップ「切り絵体験」

日時：2023年3月18日(土) 14:00~15:30
講師：盛田亜耶(切り絵作家、本展出品者)
会場：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
定員：20名
* 要事前申込(電話) [受付開始：2月18日(土) 10:00~]

■夕暮れミュージアム 美術館 de インスタ映え！

日時：2023年2月11日(土・祝)、18日(土)、25日(土)、3月4日(土)
各日16:30~18:00
* 事前申込不要

■ギャラリートーク

* 事前申込不要
* 開催日時は後日お知らせいたします

イベントは、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、変更や中止となる場合がございます。
会期中のイベントについて、詳しくは当館HPをご確認ください。



□稲崎栄利子《Euphoria》2023年
陶土、磁土、金彩、雲母銀



□成瀬誠志《上絵金彩人物図花瓶》
19世紀後期
陶土、上絵、金彩
岐阜県現代陶芸美術館蔵

【お問い合わせ】

岐阜県現代陶芸美術館(担当:学芸部 立花昭・山口敦子)
〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)
TEL: 0572-28-3100 FAX: 0572-28-3101
HP: <https://www.cpm-gifu.jp/museum>
E-mail: museum.1@cpm-gifu.jp



岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

読者プレゼントチケット（5組10名様分）を希望します。※希望される方はを入れてください。

『開館20周年記念 超絶技巧、未来へ！明治工芸とそのDNA』展の広報用写真(データ)を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、下記FAX番号またはメールアドレスまでお申し込みください。ご希望の写真にを入れてください。



本郷真也《Visible01 境界》2021年
鉄、赤銅、銀



池田晃将《百千金字塔香合》2022年
漆、木曾檜、鮑貝、金



長谷川清吉《銅製 紙袋》2023年
銀、銅



成瀬誠志《上絵金彩人物図花瓶》
19世紀後期
陶土、上絵、金彩
岐阜県現代陶芸美術館蔵



稲崎栄利子《Euphoria》2023年
陶土、磁土、金彩、雲母銀



大竹亮峯《月光》2020年
鹿角、神大樺、楓、樞、チタン合金



福田亨《吸水》2022年
黒檀、黒柿、柿、真弓、朴、苦木、柳、
ペロパローサ



前原冬樹《《一刻》スルメに茶碗》2022年
朴、油彩、墨

FAX : 0572-28-3101

Mail : museum.1@cpm-gifu.jp

担当：立花・山口・野田・廣澤

貴社名 (ご担当者)

ご住所 〒

お電話 FAX

E-mail

掲載媒体名

題目 掲載予定日

備考

○写真・画像のご使用は本展覧会をご紹介いただける場合に限らせていただきます。

○使用される場合は、左記キャプション及びクレジットをご明記ください。

○デジタル画像は全てjpgです。ご送付の手段については原則としてメール送信（画像サイズは1点300～500KB程度）となります。

○大きなサイズの画像をご入用の場合は、担当までご連絡ください。

○ご掲載紙・誌を1部当館までご送付いただければ幸いに存じます。

展覧会担当：立花・山口

写真データ貸出：野田・廣澤

岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801
岐阜県多治見市東町4-2-5
TEL : 0572-28-3100
FAX : 0572-28-3101